

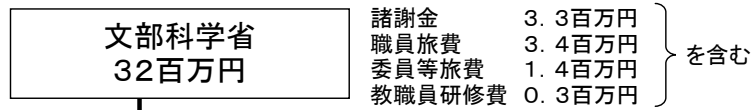
平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	国際バカロレアの趣旨を踏まえた教育の推進		担当部局庁	初等中等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	教育課程課		教育課程課長 平林正吉		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ-1 確かな学力の育成				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	グローバル人材育成推進会議中間まとめ(平成23年6月22日) 成長戦略実行計画(改訂工程表)(平成23年8月5日 閣議決定)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際バカロレアの認定校の増加を視野に入れ、そのステップとして、国際バカロレアレベルの教育を実施する学校を増加させるため、国際バカロレア資格の認知度の向上や裾野の拡大を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	国際バカロレアレベルの教育を実施する学校を増加させるため、国際バカロレアの理念を生かしたカリキュラムづくりを行う学校を指定し、国際バカロレアの趣旨を踏まえたカリキュラムや指導方法、評価方法等に関する調査研究を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					32	
	執行額						32	
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(26年度)
	本事業による調査研究成果の普及を図るために実施する研究協議会への参加者数の累計		成果実績	人				400
			達成度	%				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本事業における調査研究により構築される国際バカロレアの趣旨を踏まえたモデルカリキュラムの数(本事業の指定校数)		活動実績(当初見込み)	校				※24年度の活動見込である (10)
単位当たりコスト	3,182,800(円/件数)		算出根拠	単位当たりコスト=平成24年度要求額/件数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		3.3百万円					
	職員旅費		3.4百万円					
	委員等旅費		1.4百万円					
	教職員研修費		0.3百万円					
	初等中等教育等振興事業委託費		23.4百万円					
	計		31.8百万円					

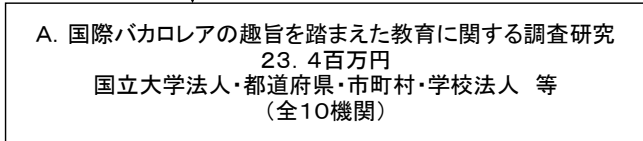
事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>国際バカロレアのカリキュラムや指導方法、評価方法等を研究し、我が国の教育に取り入れていくことは、新学習指導要領が目指す「生きる力」の育成や新成長戦略に掲げられている重要能力・スキルの確実な習得に資するとともに、学習指導要領の見直し等の際の有効な実証的資料となる。一方で我が国における国際バカロレアの認知度は決して高いとは言えず、認定校数も一条校では5校(平成23年9月現在)(インターナショナルスクールを含めても19校)にとどまっている。このような中、「グローバル人材育成推進会議中間まとめ」において、「国際バカロレア資格を取得可能な、又はそれに準じた教育を行う学校を5年以内に200校程度へ増加させる。」との目標が掲げられており、この目標の実現に向け、まずは国際バカロレアレベルの教育を実施する学校を増加させるため、国際バカロレアの認知度の向上や裾野の拡大を行うことが必要である。また、国際的な機関である国際バカロレア機構からも、文部科学省に対し、我が国における国際バカロレアの活用促進に向けた政府レベルでの取組に関する提案があり、今後の対応が求められているところであり、国が先導して本事業を進めていく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、事業の成果目標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>本事業は、以下の各種提言等において、政府として取り組むこととされたことを踏まえて新規に要求するものである。</p> <p>○「グローバル人材育成推進会議中間まとめ」(平成23年6月22日) 高校卒業時に国際バカロレア資格を取得可能な、又はそれに準じた教育を行う学校を5年以内に200校程度に増加させる。</p> <p>○「成長戦略実行計画(改訂工程表)」(平成23年8月5日閣議決定) ・国際バカロレア資格取得可能校等の増大</p> <p>○第178回国会における野田総理大臣所信表明演説(平成23年9月13日) ……新たな人材の開拓者ならん、という若者の大きな志を引き出すべく、グローバル人材の育成や自ら学び自ら考える力を育む教育など人材の開発を進めます。</p>			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



（学校を指定し、国際バカロレアの趣旨を踏まえたカリキュラムや指導方法、評価方法等に関する調査研究を推進するとともに、研究協議会（仮称）等の開催により調査研究成果の普及を図る。）

【公募・委託】



（国際バカロレアの趣旨を踏まえたカリキュラムや指導方法、評価方法等に関する調査研究を行う。）

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.法人等(全10機関)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	2. 34百万円×10校	23.4			
計		23.4	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0